

来年度開始の「反転授業」に向けて

来春から始まる「反転授業」で使用するタブレットが決定したことを受け、1月28日(火)多くの報道陣が集まる中記者発表が行われました。



武雄市ICT教育推進協議会の最終答申を受け、プロポータルを実施、軽量で持ち運びしやすく、反転授業で使用する動画等のアプリケーションの動作に優れた7インチタブレット(Android4.2.2搭載)が採用されました。3月までに各学校に配備され、4月から子どもたちはこのタブレットを使用して学習に取り組めます。

さらに同日、昨年11月に開催された市内小学校に続き、山内東小学校で公開授業が開催されました。

反転授業とは本来は授業の最初に行う「目当ての確認」「ひとり調べ」を、あらかじめ動画をタブレットに入れ家庭に持ち帰り前日に学習し、授業では友達との「学び合い」「教え合い」を充実させる事で、授業へ意欲的にのぞみ、協働的問題解決能力を育成する事を目的としています。

当日は市内はもちろん、全国から約350名の参加者がお集まりいただきました。



北方町焼米区長、総務大臣表彰

1月28日(火)、武雄市役所にて平成25年度地縁による団体功労者総務大臣表彰伝達式が行われました。北方町の焼米区長を15年にわたって務められた笹山弘氏が表彰されました。

これは自治会等の地縁による団体の代表者として多年にわたり在職し、地域的な共同活動を通じて良好な地域社会の維持及び形成に顕著な功績があったと認められる方に対し、総務大臣が表彰するものです。

焼米地区は海童神社の浮立や四季の丘公園のこいのぼりなどの活動の他、スポーツにおいても強豪地区です。「人集めがやはり一番苦労します。でも、大会で優勝したときなど、盛り上がったときの喜びが何とも言えません。これから、他の地区がやらないような事をやっていってくれたら」とお話しされていました。



宇陀sg始動！

武雄市の一事業からスタートした、自治体運営型通信販売サービス「JAPANSg」に19番目の仲間が来ました。2月3日に奈良県宇陀市が新たに加わり、宇陀sgがオープンしたのです。宇陀市は、奈良県北東部の大和高原に位置し、歌人・柿本人麻呂が歌を詠んだことでも知られ、古より連綿と続く文化遺産を有する、高原の文化都市です。

商品のラインナップは、同市特産の大和茶やトマト、和菓子にブルーベリーやゆずのジャム、とても美味しいパンのセツトなど、12種類。これからも同市の特産・名産がどんどん増えていきます。また、このようにこれからもJAPANSgは広がり、武雄を含めて全国の地域のよいもの、みんなの出品される予定です。今後の展開にご期待ください。

宇陀sg <http://udajapan-sg.jp/>

日本将棋連盟 名人戦開催決定！

将棋の第72回名人戦七番勝負の日程が決定し、第3局(5/8~9)が武雄市で開催されます。

会場は武雄温泉湯元荘・東洋館で森内名人の挑戦者は羽生棋聖。羽生棋聖は3年連続の挑戦で、4年連続同じ顔合わせです。

武雄温泉以上に熱い戦いが繰り広げられます名人戦に注目です！